

鳥の劇場

BIRD Theatre Company TOTTORI



子ども募集!

鳥の劇場  
2015年度プログラム  
〈いっしょにやるプログラム〉

子どもの  
ための

# 鳥の 学校

鳥の劇場が開校する

創る子ども、考える子どもを育てる  
週末の学校です。

2015年7月～2016年3月 ※実施日数：22日間

対象：小学5年生から中学3年生

会場：鳥の劇場（鳥取市鹿野町鹿野1812-1）

受講料：25,000円

募集受付期間：2015年6月10日（水）より7月3日（金）まで





子どもの  
ための



ことば × からだ = 演劇

ことばとの、からだとの  
新しい出会いを通じて、  
世界とのつき合い方、  
自分とのつき合い方を学ぼう。

■授業内容と講師(予定)

【ものがたり】小澤俊夫(口承文芸学者/小澤昔ばなし研究所所長)

大澤真幸(社会学博士/THINKING「O」主宰)

【からだ】山田珠実(振付家/ダンサー)

【ことば】浜本純逸(国語教育学者)

大同 謙(演出家/劇作家/批評家/パフォーマー)

【演劇】中島諒人(演出家/鳥の劇場芸術監督)

二国大学(俳優)

【映画】山崎樹一郎(映画監督)

ここ何年か小鳥の学校の場で、子どもたちといっしょに学んだり、お芝居を作ったりしています。

感じている課題は二つです。

- 1 **もう一段自分自身のことばを獲得できないか。**学校教育の中では、つつい先生方の期待することば、当たりさりのない常套的なことばを語ってしまいがち。たとえば何かを見たときに感想を問われて、「いい経験になりました」というような。けれど、人間の内面はことばによって耕され、ひだが深くなっていくので、感じたことをていねいに言語化していく作業をしなければ、心も平べったくなってしまいます。そのていねいなことば編みの時間を子どもたちに持ってもらいたい。
- 2 **からだをもっと遊びたい。**恥ずかしいのもわかるのだが、もう一段からだを自由に遊ばせられないものか。からだど心はつながっている。心を自由にし、からだど遊ぶと、心ももっと自由になって、からだもさらに自由になる。心とからだの循環が大きなものになっていく。スポーツによる身体統御ではない形で、心と体の自由なつながりの回路を、子どもたちに持ってもらいたい。

自分で考える子ども、行動する子どもを育成することが小鳥の学校の目的で、それは今年も変わりません。が、今年、『ことばとの、からだとの新しい出会いを通じて、世界とのつき合い方、自分とのつき合い方を学ぼう』をテーマにして、主に上の課題に向かって、授業を構成します。最後は寺山修司の『宝島』をみんなで上演します。

鳥の劇場芸術監督 中島諒人

■授業日程(基本的に9時から16時)

2015年 7月5日(日)・19日(日)・20日(月・祝)

8月17日(月)・18日(火)・19日(水)

9月21日(月・祝)・22日(火・休)・23日(水・祝) ★鳥の演劇祭でミニ上演★

10月11日(日)・12日(月・祝)

12月6日(日)・13日(日)・20日(日)

2016年 1月31日(日)

2月7日(日)・21日(日)

3月20日(日)・21日(月・祝)・25日(金)

発表公演:2016年3月26日(土)・27日(日)

■募集要綱

対象 小学5年生から中学3年生

募集人数 20名

受講料 25,000円

申込条件 原則として全講座に参加できること

申込方法 受講は事前に申込が必要です。

受講をご希望の場合は、

1 受講を希望される本人のお名前(ふりがな)、

2 学年、3 保護者のお名前、4 連絡先

を鳥の劇場までご連絡ください。

鳥の劇場 電話・ファックス (0857) 84-3268

電子メール kotori@birdtheatre.org

申込受付期間 2015年6月10日(水)より7月3日(金)まで

主催:特定非営利活動法人鳥の劇場

後援:鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野

助成: 平成27年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 公益財団法人福武財団 公益財団法人ごうざん鳥取文化振興財団

問合せ 鳥の劇場 〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1

電話・ファックス: (0857) 84-3268 電子メール: kotori@birdtheatre.org ウェブサイト: www.birdtheatre.org/